

学校名	新座市立陣屋小学校
実施日	令和 3年 1月 20日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校はコミュニティ・スクールとして地域人材や教育力を生かし、地域や保護者と共にある学校を推進している。	A	コロナ禍の中でも地域、PTA、おやじの会等の協力を得られ教育活動が展開できた。さらに地域人材を活用した学校づくりを推進していく。	A	PTAやおやじの会の活動をよくやっている。コロナ後を見据え続けて活動して欲しい。
2	学校は、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力・活用力等の学力向上に学校全体で取り組んでいる。	A	学力向上のために、校内研修に職員が一丸となって取り組み、全クラスで授業の流れについて共有できた。しかし授業展開について工夫の余地がある。さらに県学調・全国学調についての取組を充実させ学力向上に努めていく。	B	授業に工夫がみられる。基礎学力の定着をこれからも課題として取り組んでほしい。学力調査の今後の期待を込めての評価とする。
3	学校は組織力の活性化とチームワーク行動の徹底に全職員で取り組んでいる。	A	教師一人一人の共同意識は高い。さらに若手教員が力をつけていく環境づくりが必要である。	A	教職員の雰囲気が良い。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	分掌部会によっては、部単位での業務内容に負担感が大きいことがあるので協力体制の充実に努めていく。	B	自己評価では課題が多かった。学校応援団を活用し、働き方改革を含めさらに改善して欲しい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	令和2年度が行事が制限された中での対応について、反省を生かし今後も行事内容を精選、改善していく。	B	今後もコロナのこの状況が続くと思うが、PDCAサイクルに基づき、取り組んでほしい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	不審者対応の訓練については不十分なところがあり、研修に取り入れ実効性のあるものにしていきたい。	B	自己評価では、A評価がすくなかった。さらに地震等いろいろと想定して取り組んでほしい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	研修での共通理解が進んでおり、ルールが統一されている。学習課題の明確化と振り返りを意識させている。管理職の授業参観でも課題とまとめの整合性について指導している。	A	学校全体で取り組んでいる。またわかりやすい授業を展開している。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	コロナ禍の中でも交流の場面を工夫して持つよう指導しているが、まだまだ思考力や表現力は課題がある。さらに児童の思考や学びを表現できるよう研修を進めていく。	B	県の学力学習状況調査の結果から言語活動の充実についてまだまだ取り組む余地がある。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	学習指導要領及び県の編成要領・新座市の指導の手引きに基づいて作成した、年間指導計画は概ね順調に実施できている。一方で、教科や学年によっては、学習指導が遅れてしまう面もあるので、引継ぎ、見直しを確実に実施していきたい。	A	学習指導要領が変更された点については、確実に実施していただきたい。
10	学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	担任と英語担当教員との打ち合わせを確実に行き充実した授業が展開できている。	A	項目が英語と国際理解教育の2つになっているため評価しにくい。小学校と中学校での授業の差が感じられる。苦手意識を待たないようベースづくりをしてほしい。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	児童から進んで挨拶ができる児童がまだまだ少ない。あらゆる場所で繰り返し指導が必要である。また場に応じた言葉遣いはクラスや、教員の自覚にも差がみられるため教職員が率先垂範することが重要である。	B	教職員が良い手本になってほしい。子供たちは気持ちよく挨拶をしてくれる。今年度はマスクをつけているので表情が読みにくく難しい面や、不審者対応等もあるが、下校時など地域の人に挨拶してほしい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A	教員間の情報交換が早く、学年・クラスを超えて対応できている。	A	教員間の情報交換ができており、よく指導していただいている。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	児童の見本となる言動はできていると言える。「時間を守る」については、児童にその背中を見せていくことが重要である。	B	率先垂範し頑張ってください。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	コロナ禍の中で工夫して体育部会で検討・企画し、前回体力向上に向けて、具体的に行動できている。引き続き、有効な取組を研究していきたい。	B	コロナ禍の中でできる限りのことをしていると感じる。さらに、体力向上策をどう実施していくのが課題である。子供たちは食べ物に興味をもっている。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	「給食ひとくちメモ」を中心に楽しく知識、意欲を高めている。引き続き、計画的、系統的に進めていきたい。	A	食は「生きる源」である。陣屋小は食育に関してしっかりと研究している。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	「花壇の整備」・親子清掃等地域住民の方やPTAの方には全面的にご協力を頂いている。また全校遠足では交通整理にも多くの保護者に協力いただいた。来年度も、保護者アンケートの意見等を真摯に受け止め、更なる改善・地域等との連携を図っていきたい。	A	コロナ禍で接点が少なかったが、保護者との連携ができている。さらに挨拶運動等、地域とつながりを深めてほしい。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・HPの陣屋っ子ニュースで定期的に教育活動について伝えることができている。	A	ホームページでは学校とコンピューター指導員との連携が感じられる。さらにホームページを周知していただきたい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	・コロナ禍の中でも親子清掃やガーデンの美化に協力いただいている。さらに保護者が学校にいることで不審者対応策になるため、引き続き学校応援団組織の充実をめざしていきたい。	B	計画的に実施し、関係づくりに取り組まれている。